

# 高知県佐川町尾川地区版

テーマ：うけついでいく佐川の風景

制作：佐川町立尾川小中学校5・6年生



40年前、高知県をおそった台風5号の災害について、尾川地区活性化協議会・会長の澤村重隆さんと、尾川地区集落支援員の澤村一己さんにお話をうかがいました。

1975年(昭和50年)8月17日、高知県を台風5号がおそいました。佐川町では午前8時から午後3時ごろまで、1時間に最大108ミリ、24時間で625ミリもの大雨が降ったそうです。特に松ノ木地区は被害がひどく、家の中で土砂が流れこんでぎせい者も出ました。町内の川ははんらんし、46カ所の橋が落ち、土砂くずれも起きました。松ノ木地区の道路も山が50メートル程くずれ、一時こ立状態になったという事です。停電、断水もしたため、ろうそくを使ったたり、わき水を使ったたりしていたと聞きました。当時はひ難所がなく、家がつぶされた人は近りんの人に助けても



らったそうです。

被害は大きく、町内の約4分の1の家がしん水し、田畑750ヘクタールがかん水して、被害額は100億円をこえました。でも、2日後には400人以上が救援に来てくれたそうです。中学校のグラウンドでたき出しをしてくださったり、各地から物資がたくさん届き、田畑で育てていた作物もあったので食べ物には困らなかつたそうです。

この台風のえいきょうで、川はばがせまくなつたり、土砂がたい積して深さが変わつたりして、川の形が変わりました。そのためオコゼやウナギ、シロバヤ、ジバヤはいなくなり、たくさんいたホタルも、卵を産むやなぎの木が流されてしまい、少なくなりました。復旧するまでに4年もかかつたそうです。

私達は、尾川地区にこんな大変な災害があつたことを、取材を通して初めて知りました。この災害を教訓に、防災について考え、地域の方と助け合い、命を守つていきたいと思ひました。

取材協力 澤村重隆(さわむら・しげたか)さん 尾川地区活性化協議会・会長  
取材協力 澤村一己(さわむら・かずみ)さん 尾川地区集落支援員

尾川地区に古くからある古畑観音堂を紹介いたします。

## 古畑観音堂



私達の住んでいる尾川地区の古畑という所に観音堂があります。お堂の中には、馬頭観音がまつられていて、その周りには絵馬がたくさんかけられています。この観音堂は700年から800年ほど前のものだと言われています。古畑では、毎年旧暦1月28日にお祭りをしています。以前は、馬や牛が元気に育つように、馬や牛を連れてお参りに来ていたそうです。

観音様には伝説があります。昔、堂林という所にあつた観音様をどる棒がぬすんで、持っていこうとしました。と中でつかれて一休みした後、また観音様を持つとすると、急に重くなり、持ち上げることができなくなつたそうです。どる棒は持つて帰るのをあきらめ、その場に置いていきました。それを村人が見つけ、今の古畑にまつたそうです。

観音様の周りにはある絵馬は競走馬が速く走れるように、また、子牛が安産で産まれてくるようにと願つているそうです。私達はそんな観音堂の歴史や言い伝えをこれからも伝えていきたいと思ひます。

取材協力 吉野毅(よしの・たけし)さん 佐川くろがねの会・理事長  
取材協力 戸梶友子(とがじ・ともこ)さん 佐川町役場チーム佐川推進課・牧野公園リニューアル事業担当



## 世界にほこる佐川の植物学者・牧野富太郎



牧野富太郎博士は、1862年(文久2年)に佐川町で生まれた植物学者です。1500種類以上の新しい植物を発見し、命名しました。私達は、佐川町上町地区にある「牧野富太郎ふるさと館」と「牧野公園」に取材に行きました。博士の生家あとに建てられたふるさと館では、博士の生がいや業績について知り、牧野公園では、博士が命名した植物を実際に見ることができました。牧野公園には私達が住む尾川地区でも自生している「トサジョウロウホトトギス」の黄色い花がきれいにさいていました。他にも「ワカキノサクラ」「シコクバイカオウレン」「オミナエシ」などたくさんの植物がありました。上町地区はきれいに整備されていて、これからも、牧野博士のことを色々な人に知ってもらいたいと思ひました。

取材協力 戸梶友子(とがじ・ともこ)さん 佐川町役場チーム佐川推進課・牧野公園リニューアル事業担当

取材協力 吉野毅(よしの・たけし)さん 佐川くろがねの会・理事長

## 守っていききたい尾川川



尾川川は、ぼく達が通う尾川小学校の横を流れている川で、アユやアメゴも泳いでいるきれいな川です。ぼくは、夏休みに毎日のように川で遊んで過ごしていました。橋の上や岩から飛びこんだり、泳いだりしていました。この夏、ぼく達は、みんなで尾川川の上流にある折合淵に行きました。ここは、昔、地域の子も達がよく遊んでいた場所です。げん想的で、水はとても冷たくすき通つていて、底が見えないくらい深かつたです。折合淵のおくにはウオーターズライダーのようにすべれる岩があり、飛びこめる場所もあつて楽しかつたです。

また、夏にはホタルが見られます。堂野々地区ではお祭りが行われ、たくさんの方がホタルを見に来ます。しかし、年々ホタルの数が減つていきます。ヨシという植物がはんしよくし、ホタルが産卵をするやなぎが少なくなつてきているからです。そのヨシをかるるとホタルの減少を食い止められるかもしれせん。これからも、きれいな川を守つていききたいです。

また、夏にはホタルが見られます。堂野々地区ではお祭りが行われ、たくさんの方がホタルを見に来ます。しかし、年々ホタルの数が減つていきます。ヨシという植物がはんしよくし、ホタルが産卵をするやなぎが少なくなつてきているからです。そのヨシをかるるとホタルの減少を食い止められるかもしれせん。これからも、きれいな川を守つていききたいです。

取材協力 澤村重隆(さわむら・しげたか)さん 尾川地区活性化協議会・会長  
取材協力 澤村一己(さわむら・かずみ)さん 尾川地区集落支援員  
取材協力 岡村政弘(おかむら・まさひろ)さん 古畑地区自治会・会長



## 大昔、尾川は海だった



佐川町尾川地区の西山には、今から約2億年前のジュラ紀の珊瑚礁からできて「鳥ノ巣石灰岩」が分布しています。鳥ノ巣石灰岩は、1875年(明治8年)に来日したドイツのエドムント・ナウマン博士が、町内にある鳥ノ巣という地名から名付けました。西山に分布する鳥ノ巣石灰岩は珊瑚礁の海水の流れが激しい所でできる魚卵状石灰岩からできています。私達は、2016年(平成28年)

11月22日、西山に化石ほりに行き、ここで腕足類の化石を採集しました。ここでは腕足類の他にサメの歯やアンモナイトなども発見されているそうです。取材を通じて、尾川地区は昔、海だったことがわかりました。他にどんな生物がいたのか、もつと知りたいと思ひました。

取材協力 満洲富弘(みづぶち・とみひろ)さん 佐川町立佐川地質館・職員



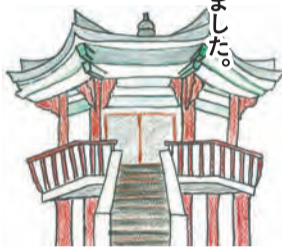


# 長崎県対馬市版

テーマ：上対馬と韓国の今と昔、そして未来へ  
制作：対馬市立豊小学校5・6年生

対馬から韓国の釜山までの最短距離はおよそ49.5キロメートルです。私達は、上対馬と韓国の歴史的な関係を知りたいと思います。対馬歴史民俗資料館に勤める、扇康満さんにお話をうかがいました。

## 日本への玄関口、鰐浦



長崎県対馬島の最北端に位置する鰐浦地区は、昔から朝鮮通信使(※1)や訳官使(※2)が対馬に来る際の最初の上陸地、日本への玄関口でした。なかでも対馬の府中(現在の厳原)にいる藩主に会いに来る訳官使は、江戸時代の間、50回以上も来ています。また、対馬と朝鮮の間では、「人参貿易」と呼ばれるほど大量の朝鮮人参を日本に輸入し、対馬藩の資金にしていたそうです。それほど、対馬と朝鮮のつながりは深く、1703年(元禄16年)に強風が原因で訳官使108名がそう難し、全員が亡くなった時にはたくさんの方の対馬の人が探しに行き、12体のみでしたが遺体を発見し、朝鮮に送り届けたそうです。

た、天気の良い日には韓国を見ることが出来ます。

他にも鰐浦地区には「王仁博士顕彰碑」があります。伝承ですが、王仁博士は、古墳時代に当時朝鮮半島にあった百済国から日本に渡来し、千字文と論語を伝えた人物だと言われています。その王仁博士の日本初上陸の地が鰐浦だったと言われているそうです。みなさんも、日本への玄関口、鰐浦に来てみてください。

(注釈)  
※1 江戸幕府に国書をわたすために朝鮮国から来た使節団です。  
※2 江戸時代、対馬の藩主に会うために朝鮮国から来ていた使節団です。

1991年(平成3年)には、鰐浦の韓国展望所に「朝鮮国訳官使殉難之碑」が建立されました。今では多くの韓国人観光客が訪れ礼拝しています。韓国展望所にある展望台やゲートには、朝鮮の古代建築様式が取り入れられています。ま



扇康満(おうぎ・やすみつ)さん(38才)  
長崎県立対馬歴史民俗資料館・学芸員



上：王仁博士顕彰碑 下：朝鮮国訳官使殉難之碑

## 国境マラソンや 三宇田浜で楽しむ 韓国の観光客

2016年(平成28年)9月27日、私達は、三宇田浜市役所の須藤博一さんにお話をうかがいました。



上対馬町にある三宇田浜は「日本の渚百選」に選ばれていて、韓国からの観光客も多く訪れています。三宇田浜では毎年7月に国境マラソンが開催されています。日本のマラソン大会は冬に開催されることが多いので、国境マラソンでは、たくさんの方に参加してもらいやすいよう、他の大会が少ない7月に行うことになったそうです。今年で20回目をむかえた国境マラソンの参加者は、過去最多の

1416人でした。1416人のうち295人が韓国からの参加者だったそうです。

国境マラソンが終わった後は三宇田浜で海水浴を楽しむことができます。地元住民がボランティアスタッフとして、参加者に飲み物を配布したりしています。また、渚の湯という温泉の入浴券、郷土料理「上対馬とんちゃん」のお弁当などももらうことができます。

ぜひ対馬に来て、国境マラソンを走ってみてください。

玖須博(くす・ひろかず)さん(50才)  
対馬市役所上対馬振興部地域振興課

## 朝鮮との貿易の証拠、塔ノ首遺跡

対馬市上対馬町古里地区にある塔ノ首遺跡は国の指定文化財(史跡名勝記念物)で1971年(昭和46年)に北朝鮮出身の金広和さんが発見したと言われています。この塔ノ首遺跡の石棺から、朝鮮式土器、九州で作られたと考えられる土器、広形銅矛(※)が出土しており、上対馬が九州、朝鮮と貿易していたということが分かっています。また、石棺の中から女性の歯が見つかり、上対馬には有力な女性がいたと思われる。

ぼくは、弥生時代からの交流が今後も続いて欲しいと思います。歴史ある貿易の地、上対馬町古里地区へぜひいらしてください。

※葬りに使われていると考えられています。(上対馬町誌参照)

(参考)  
『上対馬町誌』(発行：上対馬町役場/編集：上対馬町誌編集委員会)  
『つしまっ子郷土読本』(発行：対馬市教育委員会) / 編集：芳洲会

武末俊紀(たけすえ・としき)さん(62才)  
スポーツ用品店経営者



塔ノ首遺跡の石棺

## 対馬のソウルフード

対馬には、みんなに愛されているソウルフードがあります。

1つ目は「上対馬とんちゃん」です。私達が暮らす上対馬では、豚肩ロースを特製のタレにつけて作ります。戦後、対馬にいた韓国人の方々がホルモンを材料に作っていたのが由来のようです。とんちゃんはバーベキューや焼肉では欠かせない料理となっています。



2つ目は「ろくべえ」です。ろくべえは、サツマイモを加工して取り出した「せん」というでんぷんを「ろくべえせぎ」という道具を使って、細くしてゆでたものです。江戸時代にサツマイモが対馬へ伝わり、そのいもを長い期間食べられるよう、たくさんの手間をかけてせんを作りました。ろくべえはサツマイモのみでできた健康食なので、韓国に人気の「鳴滝」観光スポット

上対馬とんちゃんについて取材  
齋藤 義典(よしのり)さん(44才)  
対馬とんちゃん部 元帥

ろくべえについて取材  
平間 美知枝(みちえ)さん(63才)  
対馬市食生活改善推進員

かすまきについて取材  
内山 孝二(たけし)さん(46才)  
山八製菓店主



「せん」というでんぷんを「ろくべえせぎ」という道具を使って、細くしてゆでたものです。

私たちが暮らす対馬には、たくさんの方々が暮らしています。今回は3つの郷土料理を紹介します。

で、健康志向な韓国の観光客には人気だそうです。3つ目は「かすまき」です。かすまきはこしあをどら焼きのような生地でロールケーキ状に巻いたおかしです。江戸時代の参勤交代後、家中一同が島主への労いをこめてけんじしたものが、今では、韓国からの観光客に人気のおみやげになっています。

対馬の中には、今回紹介した他にも、国境の島だからこそ生まれた郷土料理があります。みなさんもぜひ、対馬に来て食べてみてはいかがでしょうか。

実際に鳴滝へ行ってみると、滝の下の方に近づくにつれて空気が冷たくなっていくことが分かりました。鳴滝の近くには、鳴滝神社という神社もあります。自然が豊富で、森林浴を楽しめるスポットなので、私は韓国観光客と同様に日本の観光客も増えて欲しいと思います。

2016年(平成28年)9月28日、対馬市役所上対馬振興部の玖須博一さんに鳴滝についてお話をうかがいました。鳴滝は落差が15メートルあり、対馬一の瀑布です。玖須さんから、韓国人観光客の中には健康目的の方もいて、そういう人たちは鳴滝で森林浴を楽しんでいることを教えてもらいました。

実際に鳴滝へ行ってみると、滝の下の方に近づくにつれて空気が冷たくなっていくことが分かりました。鳴滝の近くには、鳴滝神社という神社もあります。自然が豊富で、森林浴を楽しめるスポットなので、私は韓国観光客と同様に日本の観光客も増えて欲しいと思います。

玖須博(くす・ひろかず)さん(50才)  
対馬市役所上対馬振興部地域振興課



対馬一の瀑布の滝、鳴滝の写真



# 大分県日田市 中津江・上津江版

テーマ：自然からはじまる津江の輪

制作：日田市立津江小中学校6年生

わたしたちの身近にある  
日田杉の元祖と日田杉を利用している  
株式会社トライ・ウッドについて説明します。

## 日田杉の元祖と

## トライ・ウッド



日田杉はその生産量や品質から全国的に有名です。日田市中津江村合瀬にある宮園津江神社の周囲や参道の両側に植えられた杉並木の中に日田杉の元祖と呼ばれる杉があります。この杉は最大樹周6・75メートル、最大樹高51・5メートル、樹齢300年以上の杉で、津江地方でさし木技術による植林が昔から行われていたことを証明するものとして、特に貴重な価値があります。この日田杉の元祖は、宮園津江神社が建て直された1669年(寛文9年)に山城守長谷部信安が植えたと言われていま

加工し商品にするなど、森を育てるサイクルと木を使うサイクルを両立しています。木を切り出した後、植林をしなければ森がかわれていきます。しかし、トライ・ウッドでは植林をしているので、木が減ることはなく森が育ち、自然が保たれます。木を使うだけでなく、森を守る活動をしているトライ・ウッドは自然に優しい会社ということが分かります。

【中津江村の文化財(発行：中津江村教育委員会)】



森を育てるサイクルと木を使うサイクル

取材協力 渡邊雄一郎(わたなべゆういちろう)さん (43才) 株式会社トライ・ウッド 総務企画部・部長

## 川の源流

みなさんは川と山と海にはそれぞれ深いつながりがあることを知っていますか。まずは、山に雨が降ります。雨水は、山に生えている木の根や落葉でできた土のおかげで地中に貯められます。水がしみこむ土の中では、フルボ酸(※)が鉄と結びつき、フルボ酸鉄となります。やがてわき出て源流となり、大きな川へとつながっていきます。海にたどりつくころ、フルボ酸鉄の他、リンなど多くの栄養をふくんだ水になります。川から流れこむ水の栄養を海のプランクトンが取り、そのプランクトンを小さい魚が食べ、大きな魚が小さい魚を食べてというサイクルで、魚が育っているのです。

そのため、山がしっかりと手入れされていないと、海へ栄養がいからず、魚などが減ってしまいます。だから、山と川、海には深いつながりがあるのです。  
※ 森林や土壌の中に存在する有機酸の一つで、腐植土のように多く存在しています。



取材協力 渡邊雄一郎(わたなべゆういちろう)さん (43才) 株式会社トライ・ウッド 総務企画部・部長

## 豊かな自然にふれあえる上津江フィッシングパーク



上津江フィッシングパークは、多くの人に自然の素晴らしさを感じてもらい、自然にふれ合ってもらおうと、1985年(昭和60年)にオープンしました。1年間に約2万3000人が上津江フィッシングパークを訪れます。

上津江フィッシングパークではニジマス、ヤマメといった魚をつつて食べる他、バーベキューをして楽しむこともできます。また、宿泊施設も21棟あり充実しています。自然に囲まれた場所に泊まることで、自然の美しさを感じることができま

取材協力 高畑龍之介(たかはたりのすけ)さん (76才) 有限会社かみつえグリーン商事・代表取締役社長

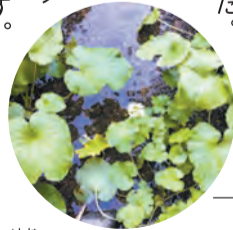
## 津江の農業

津江の野菜の魅力を紹介します。



標高が高い津江では寒暖の差が大きいという気候を生かして、良質の農作物がたくさんできます。農作物の中で、特に有名なのはわさびです。わさびは山の中で育てる林間わさびや清流で育てる沢わさびなどがあります。津江のわさびは日本で5番目の生産量をほこり、2015年(平成27年)の生産量は11・1トンでした。

水がきれいなため、からくてとてもおいしいです。オスソメの食べ方はしょう油づけやかすづけです。



取材協力 高木望(たかきのぞみ)さん(62才) JAおおいの日田支店つえ事業所、所長

津江にはわさびの他にも色々な農産物があります。夏から秋にかけてはきゅうり、秋から初冬にかけては、唐辛子、青ゆず、黄ゆず、こんにやくなどが作られています。年間を通してほしいたけなどが出荷されています。紅ふうきというお茶もあり、花粉症に効果があると言われてい

## シヤクナゲにこめられた思い



(参考情報) 『色・大きさ・開花順で引ける季節の花鑑』(発行：日本文芸社/監修：鈴木路子)

上津江町には上津江しゃくなげ園があります。シヤクナゲは4月から5月にきれいな花を咲かせます。どうしてしゃくなげ園ができたのか、しゃくなげ園代表の上山さんに話をうかがいました。「私の父が、ばっ採されるシヤクナゲを見て、なんでこんな美しい花を切るんだと思ったそう

取材協力 上山博康(かみやまひろやす)さん(63才) 上津江しゃくなげ園、代表

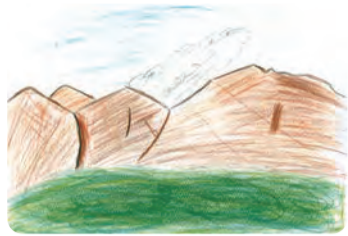


鹿児島県屋久島町口永良部島版  
 テーマ：自然とともに生きる口永良部島  
 制作：屋久島町立金岳小学校4・6年生

# 火山島、自然の恵み口永良部島

大好きな口永良部島。自然と共に生きてきたからこそ分かる、火山島の魅力を伝えたい！

鹿児島県屋久島町の口永良部島には、新岳という高さ626メートルの火山があります。口永良部島はひょうたんの形をしています。昔から噴火をくり返したことで、現在の島の形になったそうです。新岳は火山なので噴火はしますが、良いところもいっぱいあります。



ます。冬に小つぶでむらさき色の実をつけ、食べるとあまずっぱくて口の中がむらさき色になります。ジャムにしてもおいしいです。もう一つはマルバサツキです。口永良部島ではエラブツツジと呼ばれています。エラブツツジは6月ごろに咲いて、山一面がピンク色になります。噴火のえいきょうで木が枯れてしまいましたが、またピンク色に染まる山を見たいです。

噴火はするけれどぼくはこの島が大好きです。自然の中でいっぱい遊んで楽しいです。これからは色々な人に口永良部島へ来てもらって、島の魅力を知ってもらいたいので、そして口永良部島のことをもっと好きになって欲しいです。



島の魅力は温泉の他にもあります。山にはシャシヤンボの木があります。ぜひ入ってみてください。



取材協力  
 貴船森(きぶね・もり)さん(45才)  
 2016年度、平成28年度より口永良部島本村区長。口永良部島ガイド協会のガイドとして島の自然や歴史に詳しい。

大迫力！島民に愛され大きくなったゴマウナギ

## 口永良部島のペット・ゴマウナギ



口永良部島には「ゴマウナギ(和名：オオウナギ)」というウナギがいます。ゴマウナギは私達が普段食べているマウナギのような味ではなく、そんなにおいしくありません。大きいもので全長1メートル以上もあり、ビールのかんより

も太いそうです。口永良部島のゴマウナギはミミズやネズミ、小魚を食べるなど、かなりの肉食系で、だいぶ前からいるそうです。魚の切り身などの好物を川に投げこむと、高い確率でゴマウナギを見ることが出来ますよ。

川の底のどろをのみですくってみると、ゴマウナギのち魚がたくさんいました。赤ちゃんのころは透明ですが、大きくなると黒っぽいまだら模様になります。ゴマウナギは、昔、田んぼなどにもいたそうですが、今は川にしかいません。また、昔はいたマウナギがいなくなりました。ゴマウナギは、島民にかわいがられ、とても愛されています。



取材協力  
 林信昭(はやし・のぶあき)さん(70才)  
 2015年度(平成27年度)まで14年間口永良部島本村区長を歴任した。野菜作りの達人。

## 豊かな海に住む魚たち



口永良部島の海にはきれいな魚、おいしい魚など色々な魚がいます。魚だけではなく、きれいな珊瑚礁もありです。島のすぐ南を黒潮が通るので魚の種類が多いそうです。2014年(平成26年)1月、口永良部島の海で「エラブスミヤキ」という新種の魚が見つかりました。

口永良部島で魚の研究をしていた木村祐貴さんによると、深海一本



取材協力  
 木村祐貴(きむら・ゆうき)さん(28才)  
 口永良部島の魚を研究して博士号を取得。現在、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所研究員。専門は魚類生態学。

(取材協力) 広島大学生物生産学部水圏資源生物学研究室



ぶりという方法で、深さ400メートルにいる見たことのない魚が見つれ、「新種かな」と考えたそうです。エラブスミヤキは近い種類の魚と比べて目がとても大きいのが特徴です。口永良部島でとれて、焼いたスミミたいに黒かったので「エラブスミヤキ」と名付けられました。

## 豊かな自然から生み出される天然記念物



口永良部島には「エラブオオコウモリ」という天然記念物がいます。エラブオオコウモリはクビワオオコウモリというコウモリの種類です。体重は400から500グラムで、羽を広げたら1メートルになります。夜になると、窓の外からエラブオオコウモリの鳴き声が聞こえてくること

もありです。エラブオオコウモリはガジュマル、モモ、イヌビワ、クワ、アコウなどの実を食べます。実が少ない時は葉も食べるそうです。

## 魅力いっぱいマップ

口永良部島には、海で泳げる所が5カ所あります。他にも、温泉や天然記念物の「エラブオオコウモリ」など魅力いっぱいな島です。



山口正行(やまぐち・まさゆき)さん(48才)  
 口永良部島育ち。口永良部島消防分団長、PTA会長として活躍中。



す。高い所が好きなので、金岳小学校の校庭にあるワシントンヤシという木にも飛んで来ることもがあり、観察ができます。昼間はどうかつなどではなく、カラスなどに見つからないように木にばらばらに止まって寝ています。

(参考) 「コウモリ観察ブック」ニッポン里山探検隊シリーズ(発行：人類文化社/共著：熊谷さとし・三笠暁子・大沢夕志・大沢啓子)







# 沖縄県うるま市津堅島版

テーマ：恵みがいっぱい豊かなビティ島  
制作：うるま市立津堅幼・小・中学校3～6年生

津堅島は周囲約8キロメートルの珊瑚礁に囲まれた島です。白い砂浜が島のあちこちにあり7つの美しいビーチがあります。その中でも、観光客がよく訪れるトゥマイ浜について取材しました。

## 白と青の天然ビーチ



トゥマイ浜は津堅島の西側にあり、港から徒歩15分で行ける人気の天然ビーチです。マリンスポーツインストラクターの源古康博さんに取材したところ、トゥマイ浜には、毎年、宿泊や日帰りの観光客が3000人くらい訪れるそうです。最近では、県外からの修学旅行生も訪れます。たくさんの方が訪れるトゥマイ浜の魅力を紹介します。

トゥマイ浜の魅力は、約1キロメートルにおよぶ広い砂浜です。これだけ広い天然のビーチは沖縄本島にもないそうです。トゥマイ浜ではジェットスキーやバナナボード、ビックマープル、ウエイクボード、フライボード、シュノーケリングなどのマリンスポーツを体験できます。その中でも観光客に



取材協力 源古康博(げんこ・やすひろ)さん(33才) マリンスポーツインストラクター

一番人気があるのは熱帯魚や珊瑚礁を見られるシュノーケリングです。私も、夏休み前にシュノーケリングを体験しました。熱帯魚がたくさんいてとてもきれいでした。源古さんが仕事をしていてやりがいがあるのは、観光客が「きれいなビーチだね」「また来年も来るね」と言ってくれることで、仕事をしていた大変なことは、台風が来てビーチの砂がなくなることだそうです。源古さんは「この何年かです。ビーチの砂の量が減ってきている」と言っていました。また、トゥマイ浜に遊びに来ていた観光客にインタビューしたところ、「白い砂がキレイ」「海がとう明」「いろんなマリンスポーツが楽しめる」という声が多く聞かれました。きれいなビーチが続くようにゴミ拾いをしたいと思います。



取材協力 緑間春子(みどりま・はるこ)さん(86才)



## 子宝の泉「ホートウガー」

子宝にめぐまれたいあなたに朗報！大変ご利益のある名所を紹介します。



取材協力 新屋功(しんや・いさお)さん(75才) 農家

津堅島の西側の海のすぐそばに、昔、はとが見つけたと言われる「ホートウガー」というわき水があり、現在では島の名所の1つになっています。なぜ名所になっているかと言うと、子宝にめぐまれるというパワースポットだからです。そこには男女が抱き合っているような鍾乳石があり、子孫繁栄の神として崇拝されています。島の人たちに取材してみたところ、子宝にめぐまれなかった夫婦が心をこめて祈願すると、子宝にめぐまれたという話が多く聞かれました。



取材協力 幸良直光(こうら・なおみつ)さん(57才) 勝連漁業協同組合

津堅島の生産量は沖縄県が日本全体の約99パーセントをしめていて、そのうち、半分以上が勝連漁業協同組合、津堅産です。もずくの養殖は、8月ごろから始まり、約9カ月後にポンプで吸い取って収めます。もずくの育て方は、まず、タンク内で種付けをします。苗床であみに種をつけて、約5ミリメートルまで成長させます。種付けしたあみは15枚ぐらいで1セットになっています。その後、あみを一枚ずつ分けて本張りとして、水深2～10メートルの海中にあみをして育てます。1日に100枚ぐらいのあみを張っていく作業は、体力的に大変だと思いましたが、そのままにしていたら、魚に食べられるので、周りにあみを張って保護しているそうです。その後成長したもずくは、少ない日で1日に500グラム、多い日には3トンほどを収め、全体で年間90トンほどの量を出荷するそうです。大漁の時はとてもうれしいそうです。逆に、天候に左右される仕事なので、台風や高波で被害を受けた時は大変だそうです。特に沖縄は6月～11月の間によく台風が来るので、ロープであみをしばったりして対策も行っています。

## 心が1つになるお祭り「マータンコー」

毎年、旧暦11月14日に行われるマータンコーは、島の人たちが健康や豊作、大漁を祈り、心を1つにするお祭りです。およそ145年前ごろから始まったと言われています。区長の玉城盛哲さんは、「人は一人では生きていけない。和やぎずなを大切にして、楽しみも悲しみも全員で分かち合おう」という考えを持ってこの祭りを続けていきたいそうです。



取材協力 玉城盛哲(たましろ・せいじ)さん(66才) 津堅島自治会長

## 女性のみで行われる「ウシ(ス)デーク」

ウシ(ス)デークは、毎年、旧暦8月11日に五穀豊穡を祈願して島の女性のみでおどるお祭りです。当日は、広場で島の神様におどりを奉納します。沖縄本島や周辺離島で行われています。女性達が円になって日暮れまでおどる津堅島では「津堅(チキン)ウシデーク」とも呼ばれているそうです。私達、小・中学生も参加しました。



取材協力 緑間春子(みどりま・はるこ)さん(86才)



# 私たちがつくりました！

2016年度版のうみやまかわ新聞では全国14地域(小学校:11校/地域:3地域)の小学生たちが新聞づくりにチャレンジしました。

サポート:先生、地域コーディネーター、各地域の皆様

## 北海道利尻島 利尻町青少年リーダーの会 「若葉」

- 滝沢雪乃(たきざわ・ゆきの)
- 加藤美優(かとう・みゆ)
- 今堀茉奈(いまほり・まな)
- 赤坂志帆美(あかさか・しほみ)
- 志摩奏太(しま・かなた)
- 西垣心晴(にしがき・こは)
- 遠藤純太(えんどう・じゅんた)
- 菅原秀人(すがわら・しゅうと)
- 安彦海蘭(あびこ・みらん)
- 榊ひより(さかき・ひより)
- 山本陽太(やまもと・ようた)
- 長谷川志音(はせがわ・しおん)
- 滝沢咲乃(たきざわ・さきの)
- 濱口夏恋(はまぐち・かれん)
- 濱口空(はまぐち・そら)
- 常磐井美優(とぎわい・みゆ)
- 佐々木環菜(ささき・かな)
- 【地域コーディネーター】
- 高橋哲也(たかはし・てつや)
- 【サポート】
- 関根智敏(せきね・ちとし)

## 千葉県いすみ市 いすみ市立太東小学校

- 森珠青(もり・たまを)
- 加藤碧(かとう・あおい)
- 柴宮梨穂(しばみや・りほ)
- 吉田絵理(よしだ・えり)
- 渡辺羅生(わたなべ・らい)
- 吉田晃生(よしだ・こうせい)
- 市成可尚(いちなり・よしなお)
- 細谷涼介(ほそや・りょうすけ)
- 吉田瑚々奈(よしだ・こな)
- 秋葉亜衣(あきは・あい)
- 藤平莉奈(ふじひら・りな)
- 白川道威(しらかわ・どうい)
- 青木洸人(あおき・ひろと)
- 小保内玄(おほない・げん)
- 川名雷人(かわな・らいと)
- 石井怜(いし・れい)
- 内田菜花(うちだ・まはな)
- 大串萌花(おおぐし・もか)
- 半田海翔(はんだ・かいと)
- 久我駿介(くが・しゅんすけ)
- 渡邊孔明(わたなべ・こうめい)
- 関菜衣夢(せき・らいむ)

## 東京都江戸川区 江戸川区立二之江第三小学校

- 【6年1組】
- 河村勇吏(かわむら・ゆうり)
- 中里晟也(なかざと・せいや)
- 前野大和(まえの・やまと)
- 関口幸輝(せきぐち・こうき)
- 田中亮介(たなか・りょうすけ)
- 植田翔大(うえだ・しょうた)
- 田中強太(たなか・きょうた)
- 桶谷沙良(おけたに・さら)
- 榊菜美(さかき・なみ)
- 木村豪志(きむら・たけし)
- 原口伊織(はらぐち・いおり)
- 松尾春斗(まつお・はると)
- 本田汐里(ほんだ・しおり)
- 中島怜花(なかじま・れいか)
- 三上真歩(みかみ・まほ)
- 井野宮芽依(いのみや・めい)
- 飯塚汰太(いづつか・こうた)
- 内海優翼(うちうみ・ゆうひ)
- 藤澤彩香(ふじさわ・さやか)
- 加藤優弥(かとう・ゆうや)
- 鈴木空我(すずき・てんが)
- 岡村緋奈(おかむら・ひな)
- 今井美穂(いまい・みほ)
- 【先生】
- 山寺大介(やまでら・だいすけ)
- 【地域コーディネーター】
- 宮嶋隆行(みやじま・たかゆき)

## 【6年2組】

- 北澤知明(きたざわ・ともあき)
- 荒井大輝(あらい・だいき)
- 中里優斗(なかざと・ゆうと)
- 石倉遥乃香(いしくら・ののか)
- 宮家夏月(みやけ・なつき)
- 岸田淳志(きしだ・あつし)
- 鬼久保樹(おにくぼ・たつき)
- 高橋和巳(たかはし・なごみ)
- 石澤愛理(いしざわ・あいり)
- 松田咲来(まつだ・さら)
- 杉原希空(すぎはら・のあ)
- 鳴澤麻音(なるさわ・あさと)
- 保戸田旬(ほとだ・じゅん)
- 佐久間優衣(さくま・ゆい)
- 成瀬ひなた(なりせ・ひなた)
- 関里沙(せき・りさ)
- 大竹優生(おおたけ・ゆうせい)
- 小和田敬熙(おわた・たかひろ)
- 海野航(うんの・わたる)
- 関口耀司(せきぐち・ようじ)
- 鈴木心弓(すずき・ここみ)
- 三上藍(みかみ・あい)
- 【先生】
- 阿部弘子(あべ・ひろこ)
- 【地域コーディネーター】
- 宮嶋隆行(みやじま・たかゆき)

## 長野県木曾町 うみやまかわ新聞編集部 木曾支局

- 都竹菜々花(つづく・ななか)
- 森田彩心(もりた・あやみ)
- 吉田安吾(よしだ・あんご)
- 中谷壘(なかや・るい)
- 【地域コーディネーター】
- 都竹亜耶(つづく・あや)
- 榎本浩実(えのもと・ひろみ)

## 山梨県北杜市 うみやまかわ新聞編集部 北杜支局

- 山田清良(やまだ・きよら)
- 丹野諒美(たんの・あさみ)
- 浅川優翔(あさかわ・ゆうと)
- 小林宥介(こばやし・ゆうすけ)
- 阪野青央(さかの・あお)

## 滋賀県近江八幡市沖島 近江八幡市立沖島小学校

- 中村奏(なかもら・かなで)
- 栄木雪乃(えいき・ゆきの)
- 横山日和(よこやま・ひより)
- 大谷心子(おおたに・ここ)
- 【地域コーディネーター】
- 篠鉄平(しの・てつぺい)
- 小山心孝(こやま・きよたか)
- 小林生歩(こばやし・いぶ)
- 高居姫来(たかい・きら)
- 小川理仁(おがわ・りゅうと)
- 豊原光里(とよはら・ひかり)
- 谷口幸泉(たにぐち・こうせん)
- 【先生】
- 福嶋正思(ふくしま・ただし)
- 藤原隼和(ふじわら・としかず)
- 【地域コーディネーター】
- 富田雅美(とみた・まさみ)

## 岡山県真庭市 真庭市立落合小学校

- 梶原統真(かじはら・とうま)
- 大西晴嘉(おおにし・はるよし)
- 妹尾和磨(せのお・かずま)
- 井手童葉(いで・わかば)
- 米山苺(よねやま・いちご)
- 古堤心(ふるつみ・こころ)
- 渡邊舜大(わたなべ・しゅんた)
- 定賀杏奈(さだか・あんな)
- 松永知子(まつなが・はるこ)
- 大倉拓真(おくら・たくま)
- 牧陽奈(まき・はるな)
- 松下愛陽(まつした・あいび)
- 屋敷千颯(やしき・ちはや)
- 先原有紀(さきはら・ゆうき)
- 榎本理紗(ならもと・りさ)
- 西田圭佑(にしだ・けいすけ)
- 坂口真樹(さかくち・まさき)
- 村岡侑奈(むらおか・ゆきな)
- 立石晃誠(たていし・こうせい)
- 森谷真海(もりや・まさみ)
- 先原怜(さきはら・れい)
- 網島夕奈(つなしま・ゆな)

## 愛媛県上島町 上島町立弓削小学校

- 宮岡勝太(みやおか・しょうた)
- 谷本芽依(たにもと・めい)
- 若田楓太(わかた・ふうた)
- 池本大晟(いけもと・たいせい)
- 若田悠佑(わかた・ゆうすけ)
- 若田花音(わかた・かのん)
- 室川温哉(むろかわ・あつや)
- 石田さくら(いしだ・さくら)
- 【先生】
- 岡野昇真(おかの・しょうま)
- 【地域コーディネーター】
- 西本恭子(にしもと・きょうこ)

## 長崎県対馬市 対馬市立豊小学校

- 西森白(にしもり・はく)
- 高橋菜央(たかはし・まお)
- 齋藤俊(さいとう・しゅん)
- 片岡緑(かたおか・みどり)
- 岡本奈々果(おかもと・ななか)
- 西森智香(にしもり・ともか)
- 野中勇杜(のなか・ゆうと)
- 氏原拓海(うじはら・たくみ)
- 中村心優(なかむら・みひろ)
- 【先生】
- 橋村宏美(はしむら・ひろみ)
- 大西正彦(おおにし・まさひこ)
- 松本敏子(まつもと・としこ)
- 【地域コーディネーター】
- 川合里奈(かわい・りな)

## 大分県日田市 日田市立津江小中学校

- 加藤健人(かとう・けんと)
- 中根綾花(なかね・あやか)
- 中西裕斗(なかにし・ひろと)
- 加登優衣(かとう・ゆい)
- 田中琉哉(たなか・りゅうや)
- 岩越大空(いわこし・そら)
- 竹林環(たけばやし・たまき)
- 川村千愛海(かわむら・ちえみ)
- 竹林美雨(たけばやし・みう)
- 藤原壮一(ふじわら・そういち)
- 中村理玖(なかむら・りく)
- 阿部響暉(あべ・ひびき)
- 【先生】
- 芝田敬三(しばた・けいぞう)
- 【地域コーディネーター】
- 藤巻光加(ふじまき・みつか)

## 鹿児島県屋久島町永良部島 屋久島町立金岳小学校

- 鹿兒島屋久島町永良部島
- 屋久島町立金岳小学校
- 武石真鈴(たけいし・まりん)
- 河村奏(かわむら・かなで)
- 貴船梗(きぶね・こう)
- 西森智香(にしもり・ともか)
- 貴船桃(きぶね・もも)
- 【先生】
- 高橋誠(たかはし・まこと)
- 深川日奈乃(ふかがわ・ひなの)
- 【地域コーディネーター】
- 貴船恭子(きぶね・きょうこ)

## 鹿児島県和泊町沖永良部島 和泊町立大城小学校

- 西森白(にしもり・はく)
- 高橋菜央(たかはし・まお)
- 齋藤俊(さいとう・しゅん)
- 片岡緑(かたおか・みどり)
- 岡本奈々果(おかもと・ななか)
- 西森智香(にしもり・ともか)
- 野中勇杜(のなか・ゆうと)
- 氏原拓海(うじはら・たくみ)
- 中村心優(なかむら・みひろ)
- 【先生】
- 橋村宏美(はしむら・ひろみ)
- 大西正彦(おおにし・まさひこ)
- 松本敏子(まつもと・としこ)
- 【地域コーディネーター】
- 川合里奈(かわい・りな)

## 沖縄県うるま市津堅島 うるま市立津堅幼小中学校

- 川野慎一郎(かわの・しんいちろう)
- 【地域コーディネーター】
- 古村英次郎(ふるむら・えいじろう)
- 沖縄県うるま市津堅島
- うるま市立津堅幼小中学校
- 屋嘉比七海(やかひ・ななみ)
- 幸良真央(こうら・まお)
- 幸良梨奈(こうら・りな)
- 安里大希(あさと・だいき)
- 安里龍星(あさと・りゅうせい)
- 又吉旭(またよし・あさひ)
- 前田馬愛鈴(まえたば・あいりん)
- 【先生】
- 石嶺晋(いしみね・しん)
- 【地域コーディネーター】
- 喜久川望(きくがわ・のぞみ)